

生駒市学習者用 1 人 1 台端末等の弁償に関する取扱基準

1 目的

本基準は、次年度以降に学習者用 1 人 1 台端末を借り受ける学習者への貸出端末を確保し、教育活動を円滑に進めるため、学習者用 1 人 1 台端末及び付属品の破損・紛失等に対する修理、その他の弁償に関して、保護者の費用負担の取り扱いについて定める。

2 対象物品

貸出対象となる物品は、次のとおりとする。

- (1) iPad A16(1 台)
- (2) USB-C 充電ケーブル(Apple 社正規品)
- (3) 20W USB-C 電源アダプタ(Apple 社正規品)
- (4) 充電式タッチペン(エレコム株式会社「P-TPACSTAP07XWH」)
- (5) iPad フラップケース(株式会社エムディーエス「MDS-TPUCIP109G10FLBK」)
- (6) ハードウェア有線キーボード(エレコム株式会社「TK-KP20UMCIBK」)
- (7) セット品保管用 A4 メッシュケース(SD-RB2-A4-B)

3 弁償対象となる事例

次に掲げる場合は、弁償の対象とする。

- (1) 学校の管理下における故意による破損
学校教育活動中であっても、故意に投げつけたり、踏みつけたりする等の行為は、弁償の対象となる。
- (2) 紛失
紛失については、弁償の対象とする。ただし、警察に届け出た紛失については、対象外とする。
また、教育活動中の紛失により過失の程度が判断できない場合も対象外とする。
- (3) 家庭での管理下における故意又は重大な過失による破損
故意に、投げつけたり、踏みつけたりする行為は対象となる。また、屋外に放置したことによる水濡れや火気近接、ペットによる破損等の行為も重大な過失として対象とする。
- (4) 分解・改造
分解や改造を行ったり、試みたりする過程で破損が生じた場合は、対象とする。
なお、個人で修理業者に依頼し、修理を行った場合もこれに該当する。
- (5) 意図的に端末の不調・バグを誘発する行為
端末に不調やバグが発生するように意図的に操作した結果生じた破損端や端末不良等は、対象とする。
- (6) 他者の対象物品の破損等
他者の対象物品に対して、上記(1)～(5)に規定する行為により他者の対象物品を破損等した場合も弁償の対象とする。

4 弁償対象外の事例

- (1) 経年劣化による損耗は、弁償対象外とする。
- (2) 学校の管理下における教育活動、保護者の管理下でない登下校中に発生した重大な過失は対象外とする。（故意による破損を除く。）
- (3) 軽微な破損は、対象外とする。
- (4) 上記以外であっても、事象発生の経過に鑑み、教育的配慮の視点から避けられない状況であったと判断した場合は、対象外とする。

5 発生時の対応

故障、破損、紛失、盗難等の事故（以下「故障等」という。）があった時は、速やかに学校に報告すること。なお、修理については、生駒市教育委員会が手配を行うため、個人で修理を行ってはならない。また、盗難等の被害にあった際には、警察に届け出てその証明を受けること。

6 弁償の判断

弁償の判断は、生駒市教育委員会が行う。

7 弁償方法

(1) 端末本体

修理費用の見積は、生駒市教育委員会が学習者用 1 人 1 台端末の賃貸借契約を締結している事業者から取得する。端末本体の負担金額は、賃貸借契約が開始される令和 8 年 1 月時点の 37,400 円の新品購入費用を上限とし、経年劣化を鑑みた上で、決定する。

(2) 付属品（破損）

付属品を破損させた場合は、それぞれの購入金額を上限とし、経年劣化を鑑みた上で、弁償費用を算出する。

(3) 付属品（紛失）

付属品を紛失させた場合は、転売の可能性を否定できないことから、代替品の返却を求めるものとする。市販品であるため、返却時に同一品を返却するものとする。中古品による返却も可とするが、型番が同一であることを条件とする。型番が廃盤となり、流通していない場合は、生駒市教育委員会が指定する代替品を準備し返却するものとする。

8 軽微な破損

生駒市教育委員会が認めた使用に耐えうる軽微な破損については、故意や重大な過失であっても、同一端末を貸出期間終了まで使用することで、保護者に費用負担を求めないこととする。

(1) 画面のひび割れ等の破損（画面表示の全てを認識でき、タッチ操作ができる程度）

画面破損の場合、操作時に指を怪我しないようにフィルムによる保護を必須とする。フィルム費用、貼付は保護者負担とする。

(2) 端末の一部の欠け

(3) キーボードにおけるキートップの一部の欠損やキーボード本体の一部の欠け

(4) その他、学校が使用に耐えうると判断した場合

9 公開と運用

本基準は、生駒市ホームページにて公開する。改訂は、必要に応じて実施する。